

事業概要 【浸水検知センサを用いた浸水状況共有システム】

実施地域	鹿児島県薩摩川内市	事業費	30,000千円
実施主体	薩摩川内市	人口	93,176人
事業概要	<p>近年激甚化・頻発化する災害においては、同時多発的に起こる浸水の状況把握は困難であるため、初動対応の遅れなど、早期に浸水状況を把握できないことが課題となっている。この課題に対応するため、水防活動、防災業務の支援により防災・減災を推進することを目的として、流域沿川の河川台帳整備、調査及び過去の浸水発生箇所へ浸水検知センサを設置し、迅速な情報共有ができる浸水状況共有システムを構築する。</p>		
具体サービス	<p>【浸水状況共有システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川内川流域の既存の航空写真測量成果のある範囲において、市の管理河川の河川台帳整備を行い、過去の浸水発生箇所の洗い出しを行って、浸水検知センサーの設置が望ましい箇所を検討して設置する 地図上で浸水しているセンサを把握できるとともに、任意に選んだセンサの浸水情報をLINEで通知を受けて確認でき、迅速な初動対応(通行規制や住民への情報提供)が可能となる 浸水状況共有システムの導入により、夜間等視認性が悪い箇所や現場に立ち入れず確認に時間を要する箇所においてもリアルタイムの状況把握・情報共有が可能となり、現場へ職員を派遣することなく、限られた人員をより効果的に活用することで防災体制を強化する。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①河川台帳のHPへのアクセス数 ②浸水検知センサからのLINE通知数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①河川管理者の問合せ件数の減少 ②サービスの利用者満足度</p>	